

支援プログラム

■事業所における基本情報

1. 事業所名：はるプラス港南
2. 作成(更新)年月日：2024年9月30日
3. 法人(事業所)理念・・
18歳になるまで、そして、18歳以降も視野に、その子にとって最善の生活ができるようご家族・関係者と連携して支援します。
4. 支援方針・・
理念を実現するために、私たちは、以下の方針(価値観)により行動します。
①はるは子どもたちにとって、安全で安心できる居場所であることが基本です。
②有効な療育法は積極活用しますが、万能ではなく、人の数だけ解があると考えます。
③個別支援計画を協働で検討、日々の活動で実践、結果を共有、改善サイクルにつなげます。
④スタッフ個々の能力アップを図り、方針を共有し、チームワークを発揮します。
⑤課題解決のため、ご家族・関係者・専門家と連携します。
・・
5. 営業時間：
[児童発達支援] 平日 10:00~12:00
[放課後等デイサービス] 平日 13:00~17:00 休校日 10:30~16:30
6. 送迎実施：有

■支援内容

7. 本人支援の内容と5領域の関連性
5領域をカバーした基本言語・学習スキルのアセスメント(ABLLS-R等)をおこなうことで児童の発達段階・特性等を把握します。また、それに対応した個別支援計画を5領域との関連性を示した上で作成し、目標達成・改善サイクルを回していきます。
さらに、組織内に在籍する専門職(言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、心理士)も関連する領域について対応します。
なお、各領域についての概要は後述のとおりですが、[児童発達支援]は、共通の定まった時間を確保できること、集団・個別を含め、柔軟なグループ化が可能であることから、それぞれのプログラムを短時間で集中して取り組み、合わせて、プログラム毎でのスムーズな切替を図ります。
[放課後等デイサービス]は、児童により時間帯が異なること、発達段階・特性等のレンジが広い点から、個々の課題を念頭に、社会性を高める地域での活動なども含め、柔軟なプログラムの組み立てを行っています。

【健康・生活】

生活上の動作を自分で行うのが難しいお子さんには、服を着ること、身だしなみを整えること、トイレを使うことなど、日常生活に必要なスキルを身につけていきます。

【運動・感覚】

粗大運動(体全体を大きく使う運動)や協調運動(体のいろいろな部分を同時にうまく使うこと)に何らかの問題があるお子さん、指導者の指示に従うことが苦手なお子さんには、少しずつでもできる運動を増やしていけるように目標を設定します。

なお、お子さんの運動スキルを発達させることは、クラス仲間とのやりとりや、園や学校の活動と一緒に参加できるようになるために欠かせません。

また、言語発達がゆっくりなお子さんの多くは、話すこと以外のやり方で物事に集中したり、手を使って物を操作することを得意にしています。そのため、お子さんの強みを活かした微細運動(手を使った細かい操作)の目標を取り入れることで、ほかの学習課題にも取り組みやすくなります。

【認知・行動】

簡単な指示に従う、あるいは、いくつかの物の中から正しく指示された物を選ぶことが難しい場合、言葉の意味を理解できるようにすることを目標にします。

簡単な指示に従えるようになったら、より多くの物の名前や動作語を理解することを狙い、さらに時間や場所に関する複雑な指示に従うことを目標にします。

【言語・コミュニケーション】

お子さんが物の名前や活動を要求できない場合、動作や簡単な言葉で要求できるようになることを目標にします。

自発的に要求できるのであれば、目の前にない物を言葉で要求するスキルや、「だれ」「なに」「どこ」を質問するスキル、クラス仲間に物や動作を要求するスキルを目標にします。

さらに、歌詞の一部を言う、足りない言葉を入れて簡単な文章を完成させるといった課題を通して、適切な言葉のやりとりにつなげます。

【人間関係・社会性】

クラス仲間が楽しんでいるときや困っているときに、それに気づく力を身につけると、自分がどのように行動すればよいか考えられるようになります。また、集団活動に参加できる力を身につけるために、グループの中で指導者の指示に応じる力を身につけます。

8. 家族支援(きょうだいへの支援も含む)の内容

- ・気になることがあれば、電話などで相談を受ける体制をとっています。また、送迎時に、その日の様子など含め、情報共有します。
- ・アセスメントや支援計画作成過程で児童の課題や対応方法など共有します。支援会議などではご家庭・保育園・幼稚園・学校など事業所以外での活動も含めた広い範囲での相談に対応しています。

- ・課題解決のため、あるいは、ご希望に沿って、来所での相談や児童の活動の見学、あるいは、ご家庭を訪問することもあります。

9. 移行支援の内容

- ・保育園や幼稚園への入園に向けて児童に必要な支援をおこないます。
- ・保育園や学童等との情報共有や連携を図っています。
- ・進路や移行先についての相談や移行に向けての支援をおこないます。
- ・保育園や幼稚園、学校に訪問し、児童の状況を確認したうえで、情報共有します。

10. 地域支援・地域連携の内容

地域のさまざまな関係機関との連携を図っています。

- ・行政、保育所、学校、療育センター、相談支援事業所、障がい児通所支援事業所等

11. 職員の質の向上に資する取組

- ・施設として人材育成プログラムを策定し、スタッフの人材育成に取り組んでいます。
- ・OJT や外部研修
- ・研修や資格取得への助成措置

12. 主な行事等

- ・[児童発達支援] プログラム中心の内容となっており、特定の行事等はありませんが、保護者への見学・相談の機会設定など行っております。
- ・[放課後等デイサービス] 季節行事、地域イベント、遠足等外出イベント等

以上